



2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs※1)」を推進する世界の動きは徐々に広がり始め、多くの民間企業や自治体、学校、病院などでも、それぞれがSDGsについて取り組んでいる内容を開示しています。当社におきましても、SDGs達成のための取り組みを企業の事業継続のために重要な位置づけと捉えて、豊かで持続可能な社会の実現と企業価値の維持・向上を目指すため、お客様やお取引先様、地域社会全体のご満足につながるよう積極的に取り組んでおります。

わたくしたち食品小売業は、仕入・配送・販売した商品が、お客様の手元で使用・廃棄されるまで、一連の事業活動を通じて、環境に多大な影響を与えている産業であると認識しております。世界共通の社会課題※2の一つである環境問題に対して、当社では「CO₂排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」という4つの重点項目を選定し、それぞれに対して目標値を設定。年次で数値の検証をしながら、事業活動と環境負荷低減の両立を実現するための施策について、4つの分科会を設置して、それぞれ審議しております。

また、当社は社内組織として、情報管理委員会、リスクマネジメント委員会、サステナビリティ委員会という三つの委員会を設けて、情報セキュリティ、コンプライアンス、サステナビリティ等、企業姿勢が問われるテーマやあらゆる社会課題について、計画立案と実行、その検証等を行なっております。社内外に対し常に透明・公正な企業であり続けるために、社内の統治を強くすることで、お取引先・株主・その他弊社に携わって下さる総てのステークホルダーの皆さまに信頼される、「安心」していただける企業を目指し、コーポレートガバナンスの強化を図ってまいります。

ヨークベニマルは、地域に根ざすスーパーマーケットとして、地域のお客様の毎日の楽しい食卓を守るため、今後も地道な活動を通じて、社会・地域貢献を続けてまいりたいと思います。



※1…地球温暖化や気候変動、経済格差による貧困等、深刻化している地球の環境や社会情勢を問題解決するための施策として掲げられた17の目標と169のターゲットからなる

※2…経済、環境、教育、労働、医療など多岐にわたる分野で発生し、社会全体に影響を及ぼす問題のこと

株式会社ヨークベニマル
代表取締役社長

大高 耕一路

CONTENTS

ごあいさつ	1	コンプライアンスの徹底	18
経営理念・ヨークベニマル企業倫理	2	ダイバーシティ経営の推進	19
地域社会貢献における取り組み	3	ヨークベニマルの店づくり	20
安全・安心への取り組み	9	会社概要・編集方針	21
環境保全活動における取り組み	11		